

歌舞妓新報

新富座 赤松満祐梅白旗
壹番目

足利六代將軍義教公(宗十郎)無道にて曾我祐色(小園次)が言号紅葉局(小紫)又戀暮るるを熊谷直元(左團次)満祐の娘(小辨)局(半四郎)の兩人を誅む義教怒て小辨を討つ直元ハ切腹申付らる爰小赤松が跡ハ赤松満祐(團十郎)其子(五郎)教康(菊五郎)家臣(堀美兵衛)仲藏(同五郎)左團次(別府郷外)つる藏等の腹臣を集め過日赤松持貞が楠正光を生捕する功あり謂きを満祐が所領三國を削ぎ持貞小賜りてを深く恨み奉るる將軍を討らんと及逆の密談小及ふを老職浦上(彈正)宗十郎諒て死を去程小赤松邸内ハ能興行(小寺)寄將軍を迎奉つり五郎教康(渥美)陸山(圍)右衛門(別府)小不意に起て將軍を弑し直様領國(播州)白旗の城(立)籠りて討手の軍勢城を圍む中も赤松持貞(小園次)大内(右京大夫)宗十郎(魁)して攻入る城内今防ぐに術なく遂小満祐已下親子主從潔く自害して白旗落城も及ぬ

九丁五番地
西二月間茶次郎
坐三丁二番地
出版人松村甚志

河竹新七が筋書の大畧を記す

第貳號



新富座大筋書
松村甚志